



新年を迎え新しい年を迎えることができたありがたさと清々しさを感じる今日この頃ですが皆さまはいかがお過ごしでしょうか。

2023年の干支は癸卯（みずのと・う）、生命のライフサイクルを表す十干の最後にあたり、次の生命の誕生の準備に入る年です。また卯には飛び跳ねる様子から大きく飛躍するという意味があり「準備をしっかりと新しき事に取り組み組む」ことが吉のようです。コロナも4年目に入る年となり、新生活様式の社会に対応しながら挑戦する年となるのでしょうか。

ガンの現状 治療の変化

一生のうちにガンと診断される確率は、2019年の調査時 男性65.5%、女性51.2%となっており、実に**男性の3人に2人、女性の2人に1人**がガンになる確率です。

2018年にロボット支援のダヴィンチ手術が健康保険の対象になりました。

ダヴィンチに代表されるような手術支援ロボットの普及や腹腔鏡手術によって、切除手術の傷



口がどんどん小さくなっています。それに伴い、過去20年間のがん入院日数は46日⇒17日と29日短縮され、必要となる保障も変わってきております。

治療は「入院」から「通院」へ 必要な保障も変化

入院が短期化し、通院治療の増加へつながっています。また、新治療薬イレッサに代表される服薬や抗がん剤、粒子線（陽子線）と呼ばれる先進医療など、**次々と新たな治療も生まれる中で、従来の入院を中心としたがん保険の保障では対応しづらい状況**になってきました。

また、線虫やマーカー検査を行う事で従来よりも早期発見できる技術も進歩しており、上皮内がんなど早い段階で発見されるケースも増えています。その為、若いうちに加入した古いタイプの「がん保険」を見直していない場合は、保障対応できていないケースも増えて来ていますので、一度点検をしておいた方が良いでしょう。



ガン保険、点検のポイント

先に述べたようにがん治療の現場は日進月歩であり、対応するがん保険もアップデートが求められます。以下に今チェックすべきポイントをまとめました。

- ☐ がん診断給付金など一時金はしっかり付帯されているか？
- ☐ 初回のみ、2年に1回、1年に1回など、一時金は何回支払われるか？
- ☐ 極早期のがんの上皮内がんでも満額支払われるか？
- ☐ 抗がん剤治療や通院など、入院以外の保障もされるか？
- ☐ ガンになったら、以後の保険料は支払いが免除されるか？



「がん破産」という言葉があります、保険適用外の治療を選択する事で治療費負担増、体調により転職や失業、住宅ローンが重くなったりなど、家計のバランスが急速に大きく崩れ、家計が破産する事を言います。
先々を見越したご準備がおすすめです。

メンバー 近況報告

初詣と初打ち

岩瀬 英之

瀬戸に住み始めて3年目になりましたが、初めて深川神社に初詣に行ってきました。本当は、0時を回ってすぐ行くつもりで、年越しまではなんとか起きていましたが、結局その後に眠くなってしまいあきらめて、1日のお昼から行くことにしました。到着すると階段の下から並ぶくらいの人が居て、予想より人がいるなと思いながら、30~40分くらい並んで待ち参拝し、おみくじを引きました。でも、願っていた大吉では無かったので、あまり読まずそのまま神社に結んで帰りました。帰る時には、川沿いの道路近くまで列が伸びていて、いいタイミングでよかったなと思いました。



久しぶりに商店街も歩いたので、新しいカフェなどを見つけて新鮮でした。尾張瀬戸駅よりにあるお店で、店前のツボで焼いていた焼き芋を食べましたが、とても甘くておいしかったです。2日には、多治見市にあるテニスクラブで行われた団体戦に出て、初打ちをしてきました。新年早々の試合でしたが、普段と変わらず参加チームも多く、人のことは言えませんが新年から元気だなと思いました。結果は、イマイチでしたが、楽しく新年初打ちができたかったです。今年も健康に気を付け頑張ります。

松坂屋美術館へ

佐々 夏海

12月に松坂屋美術館で開催されている絵本作家、ヨシタケシンスケさんの展覧会へ行ってきました。昨年4月の東京から始まり全国を巡回している展覧会なのですが、ずっと愛知会場の展示が始まるのを心待ちにしていたので早速行ってきました。事前情報で各会場かなりの来場者で入場するのに整理券が必要で、整理券がなくなると入場できないとのことだったので美術館の営業開始時間に会場に行きました。そのかいあって待ち時間なく入場することができ、人もそこまで多くなかったので展示もゆったりと見る事が出来ました。絵本業界では1万部売ればヒットと言われるそうですが、ヨシタケシンスケさんは10万部売り上げた作品もある人気作家で、可愛いイラストとユーモアのある作品で、「大人が読んでも楽しい絵本」とされ幅広い年代から人気です。展覧会に来ているお客さんも小さな子供連れの家族もいましたが、大人だけで来ているグループの方が多かったように思います。

ヨシタケシンスケさんの絵本はクスッと笑える作品、少し考えさせられるような作品、心にグッと来るような作品などたくさん出版されていますので機会があれば一度手に取ってみてください。おすすめです！



年末年始

小川 真紀

あけましておめでとうございます。今年もよろしくお願いいたします。

東海地方では、昨年クリスマスイブに大雪となり色々大変でしたが、年末年始は天気が良く穏やかな日が多かったです。ただ、北日本や北陸側では、年明けも気温が低い日や雨や雪の日が多かったですね。

我が家では、年末ギリギリまで年賀状の作成やお正月の準備で忙しく動いていたので、年越しの大晦日は起きていられませんでした。小学校5年生の娘も「今日は、夜更かししてテレビを見続ける！」と公言していましたが、結局寝てしまい準備していた年越しそばは食べられませんでした。

年始めは、家族でお雑煮やおせちを食べた後、近所の神社に初詣へ行きました、思いのほか寒くないけれど、例年より人が少なかったように感じました。でも、実家の近くの神社は、ソーシャルディスタンスを取っている事も有り、凄く長い行列が出来ていたもので、ビックリしました。

いつも慌ただしく動いてしまうので、次は子供とゆったりした気持ちで、お正月のいわれやしきたりなど日本の良い伝統を勉強しながら、お正月行事を楽しみ、年神様をお迎えおもてなしできる準備が出来たら良いなと思いました。

